

平成23年度
実施事業

事務事業名 登別市名誉市民及び功労者表彰・市表彰事業

区分	No	名称					
章	6	担いあうまちづくり					
節	9						
施策	6						
小分類	9						
主要な施策	9						
事務事業番号	003	事業開始年度	昭和 52 年度	事業終了年度	平成 - 年度	会計種別	一般会計

部 名	総務部	グループ名	総務グループ
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市勢の発展に寄与した方などの功績を称え、感謝の意を表すると共に、広く市民がまちづくりに関心を抱く契機とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	市勢の振興発展に寄与した方や本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等の振興発展に顕著な功績のあった方や団体を表彰する。 【事業実績】 ・功労者表彰 10名 ・登別市表彰 57名
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	市勢発展へ寄与された方などの功績をたたえるため、今後も引き続き実施するとともに、表彰実績について十分に広報する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市名誉市民条例、登別市名誉市民条例施行規則、登別市功労者表彰条例、登別市功労者表彰条例規則、登別市功労者表彰選考基準、登別市功労者表彰及び登別市表彰被表彰者推薦委員会設置要綱、登別市表彰規則、登別市表彰選考基準

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	1,154	1,208	1,443	1,443	1,443
事業費 合計			1,154	1,208	1,443	1,443	1,443

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	功労者表彰者数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	10	10			
	市表彰表彰者数	人	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	35	57			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>市内には自発的にまちづくりに尽力して下さっている方々が多数存在する。</p> <p>表彰者の推薦は各グループに依頼している。</p>	<p>表彰を通じ、市として公式に感謝の意を表すことができ、また被表彰者からも励みになるとの声が上がっている。</p> <p>今後も推薦漏れを防ぐために、経歴確認徹底の周知と総務グループでのチェックを尽くしていく。また、被表彰者推薦委員会からの情報提供を頂けるよう協力を依頼していく。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見	市制の振興発展に寄与した方や本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等の振興発展に顕著な功績のあった方を表彰するという性質上、市が主体で行うべきと考える。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である		
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である		
	国、道、民間等の事業と重複・類似している		
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見	市制の振興発展に寄与した方や本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等の振興発展に顕著な功績のあった方を表彰することは、更なる市勢発展のため必要性が高いと考える。
	市民アンケートの結果から必要性が高い		
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い		
	市民の大部分が関連することから必要性が高い		
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見	功労金や略章の廃止、また表彰式典のしおりを自前で作成・印刷することのできる限りの経費削減は実施済みである。現在は、被表彰者へ贈られる功労章や表彰楯、記念アルバムなどに必要最低限の予算を計上している状態であり、これまで以上に効率性を向上させていくことは難しいと考える。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い		
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない		
	将来的に効率性を向上できる		
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見	被表彰者から、表彰を節目として今後もより尽力していきたいとの声が上がっている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる		
	目に見える形で成果があがっている		
	成果の把握は困難である		

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	市勢発展に貢献いただいた方や団体への表彰は、日頃の感謝を伝えるまたとない機会であり、また、市民がまちに関心を抱く良い機会でもあるため、継続していく必要がある。

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	